

広島市役所における温室効果ガス排出量（令和6年度確定値）について

（単位：トン-CO₂）

区 分	平成25年度 (2013年度) 【基準年度】	令和6年度(2024年度) 【速報値】		令和6年度(2024年度) 【確定値】	
		排出量	基準年度比	排出量	基準年度比
排出源別排出量	市の事務事業に係る事務所等からの排出	163,617	118,296 ▲27.7%	91,635 ▲44.0%	
	廃棄物の処理(焼却・埋立)に伴う排出(注1)	110,655	92,265 ▲16.6%	91,892 ▲17.0%	
	下水の処理に伴う排出(注2)	65,668	45,304 ▲31.0%	38,274 ▲41.7%	
	水道水の供給に伴う排出(注3)	53,599	36,875 ▲31.2%	32,507 ▲39.4%	
温室効果ガス排出量の合計(注4)		393,539	292,740 ▲25.6%	254,308 ▲35.4%	

(注1) 環境局の廃棄物関係部署の事務所等運営に係るものを含む。

(注2) 環境局のし尿関係部署及び下水道局の庁舎・事務所等運営に係るものを含む。

(注3) 水道局の庁舎・事務所等運営に係るものを含む。

(注4) 算定に当たっては、廃棄物発電等の余剰電力の売電（R6速報値：▲23,127トン-CO₂、R6確定値：▲23,136トン-CO₂）やカーボン・クレジット（R6速報値及び確定値：▲43トン-CO₂）による温室効果ガス排出量の削減効果を加えている。

令和6年度の温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）の確定値は254,308トンであり、基準年度（平成25年度）比で35.4%の減となっている。その主な要因としては、各施設での省エネの徹底による燃料や電気の使用量の減少などが考えられる。

なお、令和6年度の確定値は、速報値と比較して38,432トンの減となっているが、これは、本市が電力供給を受けた小売電気事業者の二酸化炭素排出係数について、速報値の算定に用いた令和5年度実績と比較して、確定値の算定に用いた令和6年度実績が大幅に低減したことにより、各排出源における電気の使用に伴う温室効果ガス排出量が減になったことなどによるものである。

【参考】広島市役所における温室効果ガス排出量の推移

